

6次化、ブランド化、新規事業

J A めむろ 「ゆめちから」100%のパスタ 5月発売 2014年3月17日

J A めむろ（辻勇組合長）は、町内で生産された小麦「ゆめちから」100%のパスタ麺（乾燥タイプ）を発売する。14日には同J A 理事による試食会が開かれ、食感などが好評だった。今後、商品名や価格、パッケージなどの詳細を詰め、「めむろファーマーズマーケット 愛菜屋」が新年度の営業を開始する5月3日に同店などで発売する予定。



芽室産ゆめちから100%のパスタを試食する
J A めむろの理事

ゆめちからは、農研機構道農業研究センター芽室研究拠点で開発された秋まきの超強力小麦の新品種。十勝管内では2011年から栽培されており、芽室町内では現在、小麦の作付け総面積の約6分の1となる1100㌦で作られている。

ゆめちからの認知度向上や消費拡大、同J A のブランド戦略などを目的に企画し、昨年秋から開発が本格化し

た。横山製粉（札幌）が製粉した芽室産のゆめちからを、同J A と商品の製造委託契約を結んだ双葉製麺（留萌）が製麺する。

ゆめちからの最大の特徴である「もちりとした食感」を生かすために、麺は平打ち麺のフェットチーネとした。小麦粉と全卵、食塩で仕上げた一般的なタイプに加えて、ゆめちから本来の風味をより感じてもらうと、全粒石臼びき小麦粉と食塩だけで仕上げた2種類を商品化する。価格はフェットチーネが200㌦300～400円、全粒粉の方は同350～450円を想定している。

14日の試食会では辻組合長らがカルボナーラやトマトソースでパスタを味わった。参加者からは「乾燥パスタなのに、生パスタのようなもちりとした食感おいしい」などと好評だった。

町内をはじめ、道内、道外での販売や、同J A の特産品を詰め合わせたセット商品に加えることも予定している。辻組合長は「（パスタの商品化は）十勝めむろの農産物をPRするための1つのツール。芽室の農産物は安心・安全でおいしいということを多くの人に知ってほしい」と話している。（大谷健人）

おしゃれに農業楽しんで 農家のママ友3人が衣料・雑貨店を開設

2014年5月8日

農業をもっとおしゃれに。帯広市大正本町本通3に農家の“ママ友”3人が、農業関連衣料・雑貨を扱う店「AgriFashion（アグリファッション）」を開店した。直輸入した海外ブランドの衣料や玩具のほか、カラフルな農作業着（つなぎ）にオリジナルの刺しゅうを施して販売している。店舗を農家の女性が交流するイベントの場としても使い、地域の活性化を目指す。



「農業を明るく楽しくしたい」と語るアグリファッションの橋爪さん（中央）、岡崎さん（左）、山田さん

4月26日に開店した。運営するのは実家が酪農家の橋爪理恵さん（33）、畑作の岡崎ゆかりさん（36）と山田沙織さん（34）で、3人とも市以平町在住。1年ほど前から構想を温めていた橋爪さんが2人に声を掛け、実現した。

「地元商店街を活性化したい」と、元呉服店だった木造2階建ての店舗を買い取り、内外装をリフォーム。広い店内には、カラフルな作業着や帽子、手袋などの小物、トラクターのミニカーなどが並ぶ。

橋爪さんが「夫が2年着てもまだ使えるほど丈夫」と